

平成24(2012)年9月20日

第50号

谷稻健一
上田俊邦
島子俊郎
岩島信利
大若鷺田島子原内林
島根秀昭
江大若鷺
俊郎昭俊事務局 東京都世田谷区赤堤3-15-15
TEL/FAX 03-3322-8455

武居達治



世田谷稻門会会報

行人集
發行編

今年創立20周年を迎える世田谷稻門会では各種記念行事を計画していますがその一環として各方面から来賓をお迎えして盛大な記念式典を開催します。

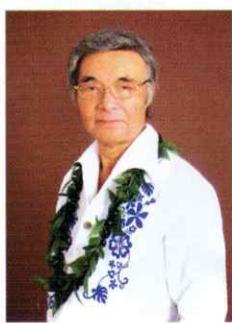
の皆さんによる演奏と早大現役女子学生のフラダンス(司会露木茂常任幹事)、チアリーダーの出演など盛り沢山の催し物を計画しています。

世田谷稻門会会員以外の皆さんの参加も歓迎します。

・日時 11月17日(土)17時

・会場 目黒雅叙園(JR目黒駅から徒歩3分)

目黒区下目黒1の8の1
03(3491)4111
・会費 10,000円(懇親会費を含む)



**創立20周年を機に「ファミリー会員制度」を新設
待望の「レディースクラブ」も発足**

世田谷稻門会は、去る6月2日(土)開催の目黒雅叙園での

会員総会において、新たに準会員制度を発足、呼称を「ファミリー会員」として、本年8月1日付で募集を開始した。ファミ

リーカー会員の資格は、会員総会での議決権を除き、既存の会員(正会員)と同等であり、各種イベ

ント参加はもとより、趣味の部

会への入会等も自由で、本人の

希望があれば、生涯にわたつて

会員継続が可能と定められている。

この新制度設置の最大の狙いは、現在、会員数400名余、

かつ早稲田大卒業生だけの限

定された稻門会から脱皮して、

会員家族が自由に参加し、家族

集によって、今後予想される女性会員の大幅増加の受け皿と

して、当会に女性だけの趣味の会「レディースクラブ」の新設が予定されており、楽しく有意義なクラブになることが期待

されている。また「レディース

クラブ」の新設時期は、本年10

月末を予定しており、設立後に

改めて入会希望者の募集を実

施予定。

記念イベントとしては現在も現役として活躍中のウクレレ、ギターなどハワイアン・ミュージックの第一人者白石信氏(昭和35年早稲田大学大学院法学研究科民法専修科卒)をお招きして、「白石信と早大ナレオハワイアンズOBバンド」

世田谷稻門会創立20周年記念式典開催 —11月17日(土)目黒雅叙園で—

白石信とナレオハワイアンズなど出演

後拡大することに伴い、当会の活動そのものが活性化すると同時に、当会の活動は家族を通して地域に浸透し、家族ばかりか地域社会からも当会が更なる理解を得ることにつながり、

貢献する世田谷稻門会作りへの熱い思いが込められている。当面は現会員の配偶者を対象にファミリー会員募集を開始するが、今後ファミリー会員の加入動向や加入効果を慎重に見極めることで、将来募集対象を更に会員子女にまで拡大するか否か等の判断が行われることになる。

現在募集中のファミリー会員は、本年10月までを第1期募集期間とし、募集人数70名、年会費は通信連絡費相当とされ、年間1,000円となる。そして、ファミリー会員の募集によつて、今後予想される女性会員の大幅増加の受け皿として、当会に女性だけの趣味の会「レディースクラブ」の新設が予定されており、楽しく有意義なクラブになることが期待されている。また「レディースクラブ」の新設時期は、本年10月末を予定しており、設立後に改めて入会希望者の募集を実施予定。

去る6

月2日土

JR目黒駅

にほど近

い目黒雅

叙園を会

場に、世

田谷稻門

会の定時

総会が開

催された。

第1部



JR目黒駅にほど近い目黒雅叙園を会場に、世田谷稻門会の定時総会が開催された。第1部の終了後は、母校からの来賓を含めて総勢95名が出席。定刻の午後4時に岩上会長が議長席に着き、挨拶の後、第1号議案である平成23年度事業報告及び決算の承認、そして次年度事業計画案や事業予算案、更に役員の任期満了に伴う改選等、全議題の審議を可決終了。席上、本年11月に予定されている世田谷稻門会創立20周年記念行事について詳細説明があり、最後に母校からの来賓、島田陽一理事のご祝辞の後、約10分間の休憩をはさんで、第二部の講演会へと移った。

第2部の講演会には、会員からの要望も多かった浅井慎平氏にご登場いただきいた。氏はつとに多才な写真家として知られ、テレビ等のマスコミでお馴染みの

(島田 實/記)
例の校歌齊唱で盛会のうちに幕を閉じた。
Bで当会会員である池田友彦氏による恒例の校歌齊唱で盛会のうちに幕を閉じた。

続く第3部は、会場を隣室に移し、世田谷区を7つに分けたブロック会ごとに大テーブルを囲み、母校からの来賓、鈴木嘉久副部長からのご挨拶の後、新入会員の紹介を経て、元幹事で大先輩格の武藤哲氏の音頭で元気に乾杯。講師の浅井慎平氏他来賓ご同席のもと、寿司やバイキング料理に舌つづみを打ち、日本酒、焼酎、そしてワイン片手に思い思いに仲間と語り合う早稲田一色の楽しい一時が過ぎた。



第21回定期総会開催 浅井慎平氏が記念講演

母校の校友でもある。露木茂氏との対談

形式でスタートした。お二人は、旧知の間柄とか。それ故に話題は広く、浅井講

師の生きざまや人生観にまで及び、聴衆の多くに深い感銘を与える素晴らしい講演会となつた。

=母校の今= (第23回)

<グローバルリーダーを育成する> 「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ(国際学生寮)」建設中!

2014年度のオープンを目指して、3月8日、「中野国際コミュニティプラザ(国際学生寮)」の建設起工式が中野区内の建設予定地で行われた。

現在、大林組による建設工事が進められているが、この国際学生寮は、日本人学生と留学生が混住する約870名規模という学生寮施設と、地域社会に開かれた生涯学習の場を提供する教育施設からなる。建物は地上11階、地下1階建てとなっている(完成予想図参照)。

田中大輔中野区長によれば、氏が区長に就任した2002年には、中野駅の北西にあった警察大学校の移転が完了、跡地をどう生かすかが焦点になっていたという。議論の末、区では病院、オフィスビル、大学などから成る「中野四季の都市(まち)計画」を策定、それによって産・学・公が連携して跡地の再開発を進めてきた。その

中の施設の一つが、この「早稲田大学中野国際コミュニティプラザ(国際学生寮)」であるという。

さらに田中区長は、早稲田大学の広報誌の中で、「…(中略)寮生は、すんなり中野の街になじんでくれ、地域も温かく学生を受け入れるでしょう。さらに今後は、多くの留学生が中野で生活することになり、地域にとって新たな刺激になることだと思います。…(中略)…生涯学習講座も行われることで、幅広い年齢層が早稲田大学の知的資産の厚みを享受し、地域としてもさらに発展できると期待しています」と述べるなど、このプロジェクトに大きな期待を寄せる。

早稲田の目指すグローバル化・グローカル化に向けて、新たな活動拠点の誕生に注目したい。

(大内 秀行/記)



完成予想図

	国澤 俊一 氏 （昭和43年） 部会担当 理工		熊谷 慶紀 氏 （昭和38年） ブロック担当 政経
国澤 俊一幹事	熊谷 慶紀幹事		
	林 薫 氏 （昭和45年） 事務局担当 理工		桃井 清治 氏 （昭和44年） 事務局・会計担当 政経
林 薫 幹事	桃井 清治幹事		
	戸田 昇 氏 （昭和47年） ブロック担当 政経		榎並 俊一 氏 （昭和46年） HP担当 理工
戸田 昇幹事	榎並 俊一幹事		
	中島 史郎 氏 （昭和59年） 青年部担当 法		篠崎 章子 氏 （昭和52年） レディースクラブ 政経
中島 史郎幹事	篠崎 章子幹事		

新年度役員

役 職	氏 名	卒業年次	担当など
会長（常任幹事）	岩上 健一	昭和36年 法	
副会長（常任幹事）	井澤 貞夫	昭和35年 理工	幹事長
事務局長（常任幹事）	武居 達治	昭和39年 法	
副会長（常任幹事）	鈴木 宏治	昭和38年 商	部会統括
副会長（常任幹事）	露木 茂	昭和38年 政経	イベント統括、LC統括
副会長（常任幹事）	横田 吉明	昭和38年 商	ブロック統括、23区支部統括
副会長（常任幹事）	島田 實	昭和40年 法	副幹事長・広報HP統括
幹事	熊谷 慶紀（新任）	昭和38年 政経	ブロック担当
幹事	国澤 俊一（新任）	昭和43年 理工	部会担当
幹事	桃井 清治（新任）	昭和44年 政経	事務局・会計担当
幹事	林 薫（新任）	昭和45年 理工	事務局
幹事	榎並 俊一（新任）	昭和46年 理工	広報HP担当
幹事	薄井 好雄	昭和47年 商	事務局
幹事	戸田 昇（新任）	昭和47年 政経	ブロック担当
幹事	篠崎 章子（新任）	昭和52年 政経	LC担当
幹事	中島 史郎（新任）	昭和59年 法	青年部担当
監事	寺島 邦夫	昭和38年 政経	青年部統括、広報HP担当
監事	山田 昭	昭和50年 政経	
顧問	土倉 享一	昭和34年 政経	
顧問	柏 良子	昭和31年 政経	
顧問	麻生 卓司	昭和34年 政経	

(注記) LCは「レディースクラブ」の略

世田谷稻門会平成23年度予算決算報告書及び24年度予算

項 目		23年度予算	23年度決算	24年度予算
収入	前期(月) 繰越金	①	513,971	513,971 566,618
	年会費	②	1,269,000	1,263,000 1,357,000
	総会会費	③	810,000	756,000 900,000
	20周年記念祝賀会	イ		2,000,000
	納涼会会費	ウ	810,000	648,000
	新年会会費	エ	1,080,000	1,147,000 1,170,000
	諸行事 小計（ア～エ）	③	2,700,000	2,551,000 4,070,000
	組織強化補助金	オ	373,000	373,000 516,000
	大震災義援金募金受入	カ	0	70,000
	利息収入	キ	150	109 100
	雑収入	ク	0	23,000 0
	その他収入小計（オ～ケ）	④	373,150	466,109 516,100
	収入合計①②③④		4,856,121	4,794,080 6,509,718
支出	総会費用	1	755,000	643,851 900,000
	20周年記念祝賀会	2		2,000,000
	納涼会費用	3	760,000	647,987
	新年会費用	4	1,025,000	1,177,409 1,170,000
	総会等 講師謝礼	5	160,000	186,000 160,000
	諸行事 小計（1～5）	1	2,700,000	2,655,247 4,230,000
	早大ボーダーズクラブ寄付金	6		30,000
	大震災義援金(NHK事業団)	7	100,000	100,000
	" (早大交友会)	8	0	70,000
	部会ブロック会援助費	9	105,000	0 0
	会員増強費	10		100,000
	校友会23区活動費	11	100,000	101,693 100,000
	広報活動費	12	700,000	586,075 600,000
	事務運営費	13	40,000	37,290 40,000
	会議費	14	240,000	257,109 250,000
	事務用品費	15	80,000	98,788 100,000
	通信費	16	210,000	185,641 200,000
	雑費	17	150,000	135,619 150,000
	20周年記念行事費	18	100,000	0 500,000
	諸経費 小計（6～18）	II	1,825,000	1,572,215 2,070,000
	支出合計Ⅰ+Ⅱ		4,525,000	4,227,462 6,300,000
	次期繰越金〔収入－支出〕		331,121	566,618 209,718
	合 計		4,856,121	4,794,080 6,509,718

23年度実績の次期繰越金 内訳
現金 11,668 銀行預金 432,234 ゆうちょ預金 122,716

部会だより

ゴルフ

A) 第71回世田谷稲門会コンペ

6月8日(金) 姉ヶ崎CC東コースで開催。湿度はありましたが、曇り空で適度の風もあり、まずまずの天候でした。参加者は25名と最近では最も少ないコンペとなりました。千葉と聞くと遠方のイメージを持つ方が多いようですが、世田谷から意外と近く、良く手入れされた素晴らしいコースに参加者からは来年も姉ヶ崎CCで開催して欲しいとの要望が数多く出されました。優勝は工藤隆司、グランドシニア優勝は櫻井昭一さん、シニア優勝は斎藤律夫さん、レディース優勝は森春野さんとなりました。



第71回ゴルフ優勝者

B) 第6回世田谷三田会・稲門会懇親コンペ

5月17日(木) 稲門会主催の下、桜ヶ丘CCで開催。天気は微風快晴、参加者は三田会11名、稲門会15名、合計26名でした。競技方法は従来通り新ペリア方式を採用、悲喜こもごもの結果と順位で懇親会も大いに盛り上りました。

優勝は稲門会の熊谷慶紀氏、準優勝は三田会の阿部龍樹氏、3位は稲門会の秋田滋氏でした。各会上位5名で競う団体戦は稲門会の4連勝となりました。



第70回ゴルフ優勝者

C) 第70回世田谷稲門会コンペ

快晴の3月29日(木) 中津川CCで54名の参加を得て開催。桜の花を見ながらのゴルフを願っていましたが、今年の開花は遅く、桜のつぼみを観賞しながらの熱戦となりました。優勝は井口昭さん、グランドシニア優勝は中井盛久さん、シニア優勝は近藤国紀さん、レディース優勝は吉村登喜子さんとなりました。
(工藤 隆司/記)

写 真

(1) 実績報告

例会：10時～13時30分 東京農大校友会館 教室

1月19日、2月16日、3月15日、4月19日、5月17日、6月21日。

(2) 今後の予定

例会：

9月20日、10月18日、11月15日、12月13日（第2木曜日）

8月は従来から休会しています。12月は開催日が変更しています。

毎回12名ぐらい参加され、1人A4サイズ以上の作品を10枚～20枚を白板に貼り付け、披露します。作品はプリントまで行う事で仕上がります。会員のプリント仕上げはレベルが上がり、見応えがあります。写真に興味がある方は例会をご覧頂くと面白さが分かり、例会終了後の昼食会でのデジタル談義は役立つと思います。

(種谷 鴻成/記)



4月6日(金)に目黒のフレンチレストランにて第6回青年部会が開かれました。当日は初参加の2名の方も含めて12名が参加。これまで居酒屋中心で男くさい(?)雰囲気が強かったのですが、今回は心機一転、女性陣のプロデュース！ ワインをお供に楽しい会話で時間の経過を忘れてしまうほどでした。

次回は、9月7日(金)に花街の風情漂う神楽坂近辺での開催を予定しています。これからも様々な企画を検討中です。

日頃は仕事や家事で忙しいかと思いますが、たまには校友たちと親睦を深めませんか。稲門会は大先輩ばかりなので参加しづらいというイメージがあるかもしれません。青年部会は、年齢にかかわらず「青年の心」をお持ちの方であれば、どなたでもご入会頂けますので奮ってご参加下さい。

青 年

ス ポ ツ

1. 6大学野球春季リーグ戦 早慶2回戦観戦会

6月3日(日)神宮球場 観戦参加者（会員、家族他）33名。

試合は11対4で快勝、気持ち良く校歌齊唱。試合後増田屋2Fに席を移し祝勝会。17名が参加し、会員相互の親睦をはかった。

2. 今後の観戦会予定

(1) 6大学野球秋季リーグ戦 早慶1回戦（10月最終又は11月最初の土曜日）

(2) 関東大学ラグビー対抗戦グループ 早明戦（12月最初の日曜日）

3. 早慶野球戦・早明ラグビー戦は今後も熱戦が期待されます。大勢の会員参加で楽しく観戦しましょう。また新入会員の入会をお待ちしています。

(川村 保夫/記)



俳句

第76回さくら句会は桜新町駅前の蕎麦屋で暑氣払いの昼食を楽しんでから、兼題の『青田』と自由句を持ち寄って開催されました。私達の俳句を優しい口調で的確に指導して下さる日下野由季先生は、NHK日曜俳句講座で、次の世代を担う新進気鋭の俳人として数週間にわたり紹介されています。当日の高得点句を紹介します。

揚花火息とのへてひらきけり	日下野由季
縄文の音色を奏で貝風鈴	松尾 守
銀の靴履きて出かけむ巴里祭	沼田 宣子
房総の風吹き渡る青田かな	富塙 兆弥
青田風軋む水車を廻しけり	江原 利次
水湛ふ棚田を渡る青田風	草谷 好孝

ホームページに参加者全員の俳句を毎月紹介していますのでご覧ください。そして私達と一緒に俳句を楽しみませんか。

(江原 利次/記)

ウォーキング



7月8日(日)小田急線南新宿駅午後1時に集合、15名が参加。初めに国立能楽堂の展示室に立ち寄って日本の伝統文化を観賞してから、新宿御苑の外周をめぐるコースを楽しみました。

現在の新宿は江戸時代の内藤家江戸屋敷の跡地を整備して造られたとの事です。江戸時代の新宿は場末のそのまた外の僻地で、信州高遠藩の内藤家が徳川家から馬で1日で回れる土地を恩賞として拝領したとの大らかな物語なども散策の思わぬ拾い話となりました。

10月から来年の3月までの月別のコース明細、集合場所がホームページに掲載されていますからご覧ください。

(江原 利次/記)

パソコン

平成24年4月より世話人(代表:岩城好宏、企画:高橋昇三・竹村晃・中井盛久、会計:薄井好雄、監査:高橋毅、顧問:上田忠雄の各氏)にて月2回の例会(勉強会)を行っています。講師は前期同様上田、高橋(昇)両氏にお願いしています。

勉強会は特にカリキュラムを設けず日常生活に身近なワード、エクセル、インターネット、メール等の基本操作の習得と関連情報の受得が主な目的です。

講師を中心にPC愛好家が集い、経験技量に関係なく楽しい雰囲気の中で互いに実技と質疑応答を行い、知識・技量の向上を図っています。

特別見学会として6月26日NHK放送センターを訪問し、スタジオ(平清盛・梅ちゃん先生)の録画見学とホール(歌謡コンサート直前リハーサル)の観賞を行いました。

(岩城 好宏/記)



芸術・芸能鑑賞

「久し振りに歌舞伎鑑賞会を開催」

4月18日に国立劇場で歌舞伎鑑賞会を15名参加で開催した。

人気の片岡仁左衛門による悪党二役の「絵本合法がつじ」を鑑賞した。

この作品は国立劇場開場45周年記念公演とし、鶴屋南北の名作として知られる。満員の観客で溢れ、配役の魅力に負うところが大であった。

5月18日と7月13日には人気一番「三越落語会」にそれぞれ20名が参加し、名人芸を堪能した。7月4日の紀尾井ホールでアンサンブルオブ東京がベルリンフィル 首席クラリネット奏者を迎えての「モーツアルトのタベ」は特筆に値する演奏会であった。

9月は21日同日に国立劇場で「文楽」と三越劇場での「落語」を予定している。又9月28日には会員・花田さん出演の中野サンプラザでの「映画音楽アルバム」を鑑賞する。

(鈴木 宏治/記)

囲碁将棋

次回の囲碁部会の例会は10月13日(土)～14日(日)に世田谷区用賀の世田谷区立老人休養ホーム『ふじみ荘』で1泊2日の日程で行います。集合時間は13日10：30、会費は1泊2食付5,000円(泊まても泊まらなくても同じ料金)です。

なお、13日と14日の昼食は自弁です。詳細は世田谷稲門会囲碁部秋の会のお知らせを参照下さい。

その他、年2回程度対外試合に参加しています。

今年は6月2日に団体戦で首都圏オール早稲田囲碁祭りに参戦し8チーム中2位になりました。この試合では池松7段が全勝を飾り、おおいに面白を施しました。

秋は9月30日に日本棋院で行う首都圏稲穂会個人戦に参加を予定しています。

又、将棋部も対外試合に参戦する予定です。

(矢田 廣/記)

食べ歩き

東京、福島競馬観戦会

1. 5月5日(土) 「府中競馬場貴賓室」にて競馬観戦会を兼ねた昼食会を開催した。参加者は40名、ダービールーム2部屋が満員という盛況である。当日は曇り空ながら新緑の木立と芝生を見渡せる観覧席は心地よかったです。

2. 7月1日(日) 1年5ヶ月ぶりに再開された福島競馬場を訪れた。1泊旅行なので参加者は13名。当競馬場は昨年6月より芝コースの張替え、敷地各所の高圧洗浄等の除染作業、修復工事が行われ、やっと4月7日から再開されたのである。世田谷稲門会としては3回目の訪問だが、当日場内が多数のファンで埋め尽くされているのを見て感無量であった。夕刻、穴原温泉[吉川屋]に到着、ここも3度目。女将によれば堅牢な建物なので、震災の被害は少なく裏山が崩れたのみ、ただ宿泊客は震災前の7割程度とのこと。でも[吉川屋]の皆さんが明るく立ち働いているのを見ておもわず「がんばってください」との声掛け。翌日は福島交通の貸切バスで、磐梯スカイライン、喜多方を経て郡山駅着。福島の旅は無事終了した。

(柏 良子/記)

カラオケ

- ① 5月5日(土) 第62回は爽やかな日に参加15名が3室で。
- ② 6月3日(日) 第63回は日帰り温泉カラオケとして昨年と同じ七沢温泉「盛楽苑」で参加、6名が露天風呂と丹沢料理の鮎の刺し身と猪鍋を堪能し、舞台付き広間で浴衣で熱唱しました。(写真)
- ③ 7月7日(土) 第64回は七夕の日に参加10名が2室で。
- ④ 8月4日(土) 第65回は梅雨明けの猛暑の中を参加12名が3室で。
ちょうど開催中のロンドン五輪で前奏付き「君が代」が演奏された真相と国歌のアレンジの是非についての言及がありました。

(倉田 豊/記)



麻雀

1. 5月20日(日) 日本晴れの晩春の午後、26名の善男善女が集い、丁々発止の戦いとなった。前半出遅れていた河村(卓)氏が後半119点を稼ぎ、先輩諸氏を牛蒡抜きにし、久し振りに優勝した。

優勝 河村卓郎、準優勝 松下忠史、3位 田島功統、4位 武田一成、5位 郡山弘文

2. 6月16日(土) 梅雨の合間の好天の正午、28名の紳士淑女が集い口と技をフルに活用し順位を争った。宮木氏が初回の大量得点を守り、猛追する上保・林氏を抑え優勝を遂げた。

優勝 宮本 甫、準優勝 上保幸夫、3位 林 馨、4位 松下忠史、5位 奥田 隆

3. 7月8日(日) 蒸し暑い真夏の正午、腕に自信の25名の男女が集い賜杯を争った。実力充分の飯田氏が一度もトップを譲ること無く、2位以下をダブルスコアで下し初優勝を遂げた。

優勝 飯田保則、準優勝 小河原 泰、3位 田島功統、4位 高橋義幸、5位 奥田 隆

(下谷内 勇/記)

釣り

4月28日 茨城北浦大船津のホソの真鯛釣り、例年どおり33cmの大型が出る。5名参加。
 5月27日 久里浜山下丸よりカサゴ釣り、数は出るが型が小さい。7名参加。
 6月23日 江戸川国府台にて手長エビ釣り、型良く20~30匹。6名参加。
 6月24日 金沢八景新健丸より、カサゴ釣り。寺島さん30cmの大物を釣る。6名参加。
 7月1日 下田須崎光明丸よりイサキ釣り、神子元島沖で兼子さん59匹、柴田42匹の大漁。
 7月7日 江戸川国府台にて手長エビ釣り午前中で30匹。地元の釣り師より手長エビを餌にし、鰻釣りを勧められる。常連が40cm鰻を釣り上げた。
 7月28日 川崎つり幸よりキス釣り。浅瀬の盤洲にて国沢さん34匹の竿頭。
 7月29日 京浜運河夕焼けなぎさにてハゼ岡釣り、午前中53匹。11~12cmの型良しが主体。
 その後8月7日、15日に行くも全く釣れず。江戸川へ行くも釣れていない。どこへ行ったか不思議である。
 今後メバルの夜釣り、イナダ釣り、カワハギ釣りを予定。磯の青物釣りも楽しみである。 (柴田 昇/記)

きぬた

ブロック会だより



きぬた会の平成24年度活動は、第2回目を代々木倶楽部で7月22日(日)22名の参加を得て、盛大に開催された。

今回は目下最大の関心事である、地震に関する講演を企画した。講演者には砧在住の、母校社会科学総合学術院の早田教授にお願いした。「大災害からの復興—社会デザインの視点から—」をテーマとして、東北の現状と復興の道筋を、特に早稲田大学として重点的に取り組んでいる気仙沼を例に、様々な具体例(三陸牡蠣復興支援プロジェクト等)を数字(世界のかつお・まぐろ加工シェア等)などを駆使し講演して頂いた。また我々として何ができるかとの問題に関しては、現地との信頼関係を築き、積極的に東北産の農水産物を利用する重要性を説かれた。

若干の質疑のあと食事会に移り、予定を大幅に超過して終了した。
 次回は11月頃開催を予定している。 (高橋 肇/記)

ちとせ

千歳会の本年度初めての懇親会と見学会を4月28日(土)の午後4時から行った。快晴と新緑に恵まれ、初めに京王線の芦花公園駅近くの「世田谷文学館」で見学会を行い、この日初日の「地上最大の手塚治虫展」を見学した。改めて手塚治虫氏の偉大さと先見性、その影響力に驚嘆した。

見学会の後で、近くの人気レストラン「サンマルク芦花公園店」で懇親会を行った。本部から岩上会長、麻生幹事長、柏副会長の3名とさくら会の矢田世話人の出席を得て、岩上会長の挨拶と麻生幹事長の乾杯の音頭で会は進行した。フランス料理のフルコースで料理・ワイン・話題を中心懇親した。司会進行を鈴木世話人が行い、会計報告を戸田幹事が担当し、世話人からこの1年の会の状況を報告した。変わらず出席率は良く、計21名で7時半ばまで、尽きぬ話題に花を咲かせた。

最後に6月2日の総会の出席要請と再会を約してお開きとした。

なお、次回の千歳会懇親会は10月13日(土)にイタリアレストラン「アルターナ」で行う。
 (鈴木 宏治/記)



キャロット

キャロット会の懇親会は4月12日(木)午前9時、キャロットタワーの下に集合し、チャーターしたワゴンバスに便乗し、12名でキリンビールの横浜工場を見学しました。当日は天気も良く50分の製造工程の見学の後出来立てのビールの試飲を致しました。ホップのつまみも美味しく、楽しい時間を過ごしました。

その後、横浜中華街の鵬天閣で食べ放題のメニューでビール、紹興酒を飲み、懇親の密度を深め、午後2時に散会致しました。

写真は明治初期のビール醸造所をイメージした建物の前で記念撮影しました(後列左から天野、青木、堤、森、榎並、奥田、佐野、加藤、西喜、前列左から富塚、中井、萩原)。

キャロット会の忘年会を11月24日(土)に開催すると会報49号に記載しましたが、11月17日に世田谷稻門会創立20周年記念イベントが開催されますので、12月9日(日)に開催いたします。 (富塚 兆弥/記)



西 北

- *例会 3月30日(金)18時より第25回目の例会を何時もの参宮橋「新日鉄代々木俱楽部」にて開催。 今回は久し振りに御大前原祖彦氏(25理工)に「私の来しかた……人生は縁・運・出会い……」と題して熱く語って頂きました。 次回は9月28日(金)18時より同場所にて講師は小倉康弘氏(26理工)を予定しております。
- *ゴルフ会 5月30日(水)快晴の名門日高カントリーにて開催。3組10名の参加でした。19番ホールの反省会は梅丘「梅園」にて、何故か3名増えての楽しい反省会でした。
- *サポートー会 西北会には未熟な幹事を支えるサポートー会がありますが、今回は柏副会長、麻生幹事長の退任に伴い慰労を兼ねて下北沢「北海道」にて、11名の参加でした。
- *雀会 毎月第4木曜日12時30分より下北沢にて3卓ぐらいで開催しております。我と思わん方はぜひご参加ください。(幹事桃井清治氏)

(松浦 晋三郎/記)



玉 川

あの『3月11日』から1年あまり過ぎた3月17日、玉川会として初の試みの《防災イベント》を開催しました。

プログラムの第一部は、岩手県宮古市出身で自身も身内の方を東日本大震災で亡くされている玉川会会員の大内秀行氏が、現地・宮古で入手した津波の凄まじい映像記録—それには、遠くから波が押し寄せ次第に高くなって終には防潮堤を越え、あとは町が、村が濁流に流され破壊しつくされていく緊迫した様子が周囲の人々の声とともに映し出されていました。



そして震災後の昨年5月ごろに大内氏が撮影したものは、車で行く先々全てが見渡す限り破壊され廃墟と化し瓦礫しか残らない様子が、見る者の心を締め付けてくる映像でした。

第二部は、私(林)が集めた防災関連データ世田谷区、東京都のハザードマップ(地震、地震火災、液状化、洪水等)の紹介、災害時の帰宅支援、防災グッズ・備品等について公表されている画像を中心に説明を行いました。

当日はあいにくの雨天でしたが、会員及びご夫人方合わせて25名の参加が有り、防災というテーマへの関心の高さが窺われました。

(林 馨/記)

さ く ら

今回のさくら会の例会は趣を変えて、桜新町駅前の『権八』で10月6日(土)に昼食会を兼ねて行います。早稲田大学校歌斎唱もやれる予定です。又、11月15日(木)には特別企画として、はとバスによる『帝国ホテルと東京スカイツリー展望デッキ』と称する見学会を行います。

さくら会では目下会員数は81名。会員の年会費は無料です。

(矢田 廣/記)

け や き

4月28日(土)12時より15時30分、本年度総会兼第1回春季懇親会並びに新入会員歓迎会を千歳船橋3丁目の欧風レストラン「オーランデヴー」に24名の会員参加の下開催した。講師には、当けやき会世話人で、赤堤に於いて、一級建築士事務所「環境企画グループ」を運営する傍ら神奈川大学で都市政策論をご教授されている、井上文(あや)先生を迎えて「住まいと地震について」ご講演をいただいた。

詳細なデータに基づく具体的な地震対策に会員一同刮目すると共に、来るべき大震災対策を懇切ていねいに説明され、事前に対策を講ずれば被害を軽減し、生き残る可能性が増大するとの嬉しいご説明がなされた。講演後、活発な質疑応答が行われ、改めて「備えあれば憂い無し」の格言を肝に銘じ安堵された方々が多数見られた。

その後、新入会員の自己紹介、既存会員の方々の近況報告、会食、飲食、懇談、交流等で楽しい一刻を過ごした。最後に校歌を斎唱し、次回の再会を約し、散会した。

(下谷内 堯/記)



会員のひろば

外資系企業で学んだこと

(43年理工卒、
45年理工修士
修了)

三ツ谷 裏一



32歳から現
在まで米国系

企業3社で35年間仕事をして
きた経験から、日本ではその実
態が知られていない一つの事
例を個人の独断の意見として
お話ししたいと思います。

3年ほど前、自動車関連事業
部門のグローバル・マネジャー
会議に参加のためにデトロイトに
出張した。たまたま昼時だ
ったので、ランチを取るために、
近くのファミレスに出掛けた。
食べ物がサーブされるまでの間、
薄暗いレストランの店内の各
テーブルにどんな人が来てい
るのか店内を観察した。25年程
前にデトロイトに来た時と比
較すると超肥満者が目につき、
顧客(子供を含め)の約3分の
1近くが超肥満であつた。デト
ロイトには何故超肥満が増え
たのかを現地の友人の意見も
参考に考えてみると生活環境
の変化が大きく影響している
ことが解る。

自動車産業全盛期のデトロ
イトは自動車産業のメッカで
生活に落ちてしまう。

所得が半減してしまうと、三
食を外食に頼らざるをえなく
すなわち製造業で仕事をす
れば、多くの人が中産階級レベ
ルの裕福な生活が出来るが、サ
ービス産業に移ると、大半の人
はワーキング・プアレベルの
生活に落ちてしまう。

日下野 由季(平成14年文)
今年の春から世田谷区の稻
門会さくら会の俳句部で句会
指導をさせていただいており
ます。父の高橋悦男が長く指導
者として携わっていたものを、
新たに名称を変えて復活させ
たいと思います。

俳句と私



マーメイメント会議のディナーでは
全員キルトを着用

非常に活気のある都市であった。
1950年には、市内の人口
が2百万人近くであり、ビッグ
3の本社と多くの関連工場が
あり、当時全米でもっとも裕福
な都市の一つであった。

ところが、自動車産業の構造
変化(工場の海外移転など)の
影響により2007年になる
と人口が90万人とほぼ半減した。
自動車メーカーの工場が閉鎖
されると、数千・数万人の労働
者が解雇になり、その約半数は
新たな製造業の仕事を求め他
の州に引っ越す。残りの半数は、
地元で就職できるサービス産
業の仕事に就く。サービス産業
の給与は以前の基本給与の約
6割以下となる。またサービス
産業では、すべての業務はマニ
ュアル化され、3シフト制で稼
働するため製造業のような時
間外労働はなく、社員の実際の
手取り給与は以前得ていた給
与の半分以下になってしまいます。
最悪の場合には最低賃金制の限
度の時給6ドル程度になつて
しまう。

なり、安価なファーストフード
に依存せざるをえない。ほとん
どのファーストフードは食欲
を促す食品添加剤(FDA認可
ではあるが)が使用されている
ため、さらに多くの量を食する
ことになり、超肥満が必然的に
増加する。この様に、日本の國
内だけでは海外の生活環境の
変化を理解することは難しいが、
世界の各地を仕事で訪問し、自
分の目で観察すると外国の生
活の本質を見ることができる
ことを私は外資系企業で学ぶ
ことが出来た。

と私が力づけてくれたのは、真
剣に俳句と向き合ってきた思
いと20年近くになる歴史でした。
人生経験ではとうていかなわ
ないけれども、俳句では負けな
いという経験から得られる自
信が、不安に思う私を今も後押
ししてくれています。

俳句を詠み始めたのは高校
生の頃でしたが、真剣に向き合
い始めたのは「早大俳研」に入
部してからです。当時、私は他
大学に在籍していて、部活に出
るためには早稲田の第一学生会
館へと通つてました。今はなき
第一学生会館の歴史に燻され
たような薄汚れた壁や混沌と
した部室の空気を懐かしく思
い出します。「早大俳研」(早大
俳句研究会)は「早大俳句」とい
う名前で存在していたものを、
新たに名称を変えて復活させ



このたび引き継ぐことになり
ました。大先輩にあたる方々と
窓の大先輩ということで心強
いあるはずのものが、逆にプレ
ッシャーになることもあるよ
うです。それでもきっと大丈夫、
とは本当に幸せなことで、この
仲間たちと切磋琢磨していき
たいという思いが起らなければ
その後早稲田に入学する
こともなかつたでしようし、何
より俳句を自らの進むべき道
として選択することもなかつ
たと思います。当時の仲間は俳
壇を担う若手としてそれぞれ
活躍の場を広げていて頼もし
い限りです。

卒業後は詩歌を専門にする
出版社で編集の仕事をしながら
句作を続け、20代の終わりに
第一句集『祈りの天』を上梓し
ました。俳壇でも好評をいただ
き、その後、総合誌の賞に出し
た30句で第一席を受賞したこ
とが、絶対的な評価のない詩歌
の世界の中で、次の扉を開く原
動力となりました。現在は編集
の仕事を辞め、早稲田大学エク
ステンションセンターで俳句
講座の講師を務めながら、作句
執筆など俳句一本で活動して
います。俳句を通じて出会う人々
に感謝しながら、俳句の素晴ら
しさを伝えていくこと。それが
私の使命だと思って日々精進
していきたいと思います。

世田谷稻門会 会員異動状況

平成24年8月3日現在

〔新入会員〕

氏名	卒年学部	郵便番号	住 所	電 話	FAX
高田 誠一	昭38 法				
大里進一郎	昭38 商				
山崎 昌宏	昭33 商				
後藤 保則	昭39 商				
阿部 龍文	昭22 文				
辻 哲	昭46 政経				
佐伯 潤	平12 法				
田中 正文	昭46 政経				

個人情報につき不掲載

〔再入会員〕

武田 一成	昭28 文	
-------	-------	--

〔退会/休会会員〕

氏名	卒年学部	理 由	備 考
五十嵐恭一	昭42 法		
猿谷啓次郎	昭26 文		
大法 嘉道	昭63 理工		
小山 康彦	平10 文		
武田 一成	昭28 文		
西本 誠	昭58 商		
二宮征次郎	昭42 法		
福田 光則	昭31 教育		
村上 謙三	昭42 理工		
山口 範明	平04 法		
山根 基世	昭46 文		
登坂 正夫	昭33 商		

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年学部	郵便番号	住 所	電 話	FAX
矢田 廣	昭34 法				

20周年記念誌掲載広告募集

12月20日に「世田谷稻門会20周年記念誌」を発行します。

通常の会報より豪華にと編集委員一同張り切つて制作中です。

今回は予算の関係もあり広告を掲載することになりました。皆様の絶大なるご協力お願いします。

榎並 俊一
昭和44年文学部
幹事 広報担当鷲巣 俊子
昭和44年文学部
社会学専修卒。

榎並 俊一

昭和46年理工学部

幹事

広報担当

りました。どうか会員各位のご協力をお願い致します。

ご協力ををお願い致します。

新編集委員紹介

・申し込み先 榎並 俊一
TEL/FAX 03-3414-6587
携帯 080-5050-0342
メールアドレス
enasan_1948.2.19@kbh.biglobe.
.ne.jp

10月15日
全面広告 5万円
1/2ページ広告 3万円
1/5ページ広告 (1段) 1万5千円
名刺広告 5千円
(版下(カラー)の提出含む)
・申し込み〆切

以下の皆様には引き続き編集委員をお願いしました。
美術書の編集などを担当のち講談社、朝日新聞社などで一般書籍の編集も手がけてきました。
これまでの経験を生かして協力させていただきます。

寺島 邦夫
昭和38年政経卒
原稿の収集
広報全般のサポート

寺島 邦夫
昭和38年政経卒
原稿の収集
広報全般のサポート

以下の方々が
今号から新たに次の方々が
編集委員に加わりました。
20周年記念誌の編集にもたず
さわります。(順不同)

寺島 邦夫
昭和38年政経卒
原稿の収集
広報全般のサポート

江原 利次
昭和31年商学部卒
監事
取材・写真撮影

大内 秀行
昭和39年法学部卒
原稿の収集

島田 實
昭和40年法学部卒
副会長(常任幹事)
会報、ホームページ、そし
て20周年記念誌編集を担当
する『広報統括』を仰せつか

若林 昭男
昭和31年理工学部卒
ホームページ制作